



平成27年12月15日

各 位

会 社 名 **株式会社ツルハホールディングス**

代表者名 代表取締役社長 堀川 政司
(コード番号 3391 東証第一部)

問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 大船 正博
(TEL 011 - 783 - 2755)

平成28年5月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成27年6月16日に公表いたしました平成28年5月期第2四半期累計業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成28年5月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異

(平成27年5月16日～平成27年11月15日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------------------------|---------|--------|--------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 230,300 | 14,900 | 15,380 | 9,130 | 192.65 |
| 実績値 (B) | 242,144 | 14,366 | 15,195 | 9,951 | 209.58 |
| 増減額 (B - A) | 11,844 | △533 | △184 | 821 | |
| 増減率 (%) | 5.1 | △3.6 | △1.2 | 9.0 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成27年5月期第2四半期) | 217,912 | 13,434 | 14,074 | 8,326 | 174.53 |

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は予想を上回ったものの、従業員持株会連携型ESOP終了に伴う残余財産分配金17億62百万円を人件費に計上したため、営業利益、経常利益はそれぞれ前回発表予想を下回りました。また、特別利益として平成27年10月19日付で株式会社レデイ薬局を子会社化したことに伴う段階取得に係る差益^(※)2億44百万円を計上したほか、前回発表予想時に2億円を見込んでいた減損損失が当第2四半期連結累計期間において発生しなかったことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては前回発表予想を上回りました。

(※)段階取得に係る差益…取得が複数の取引により達成された場合において、支配獲得時における時価で評価した価額と、実際の取得時の原価を積み上げた合計額の差額

【ご参考】従業員持株会連携型ESOPについて

当社は平成23年9月14日付『「従業員持株会連携型ESOP」導入に関するお知らせ』にて開示いたしました通り、従業員への福利厚生を目的として、同日付で「従業員持株会連携型ESOP」（以下「ESOP信託」といいます。）を導入いたしました。

ESOP信託は、借入金を原資として当社従業員持株会が今後7年間で取得すると見込まれる数の当社株式を市場より取得したうえで、従業員持株会に毎月株式を売却し、その売却資金により借入金を返済するというものです。

当該借入金の返済期間は当初7年間で予定しておりましたが、ESOP信託導入以降株価が急速に上昇したことにより当該借入金の返済が早まり、当第2四半期においてESOP信託の終了が確定いたしました。このため、ESOP信託が保有していた残余財産の従業員に対する分配金17億62百万円を人件費として計上いたしました。この支出は臨時的なものであり、当第2四半期以降は発生いたしません。

なお、上記のESOP信託の分配金を除外すると、営業利益は161億18百万円（前回発表予想比8.2%増）、経常利益169億46百万円（同10.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益111億24百万円（同21.8%増）という業績であったと推定されます。

以 上